



振徳通信

花咲くを待つばかりの
ふくらんだ蕾に春を感じ
今日この頃。柔らかな
春の風にのせて、今年度
の振徳通信最終号をお届け
します。

宮崎県立日南振徳高等学校

地域農業科 / 機械科 / 電気科 / 商業科 / 経営情報科 / 福祉科

第7号

2017/03/13

第七回卒業証書授与式を挙行

振徳高校を誇りに、胸を張って歩き出す。



柔らかな風に乗って、梅の香りが漂い、春の訪れを感じられるようになりました。この佳き日に私たち210名のために、このように盛大な卒業証書授与式を挙げていただき、卒業生一同お礼申し上げます。先ほどより、ご来賓の皆様からご祝辞を賜り、在校生からは送辞をいただきました。温かい激励のお言葉に身の引き締まる思いです。

3年前の入学式。広い校舎、真新しい制服。先輩方が醸し出す整然とした雰囲気。初めて顔を合わせる同級生、担任の先生……期待と緊張の中で、私達の高校生活がスタートしました。

慌しく毎日が過ぎ、自分だけが取り残されているようで不安なころ行われた宿泊研修。友達がたくさんで、前向きな気持ちを取り戻すことができました。

誰よりもうまくなりたいと努力した部活動。伴奏者なしで臨んだ文化祭の合唱。真面目に練習するはずが、誰かの一言で、笑いが止まらなくなってしまう……。体育祭の練習では、炎天下のグラウンドを何度も何度も行進しました。

様々なことに取り組む中で、私達は少しずつ振徳生になっていきました。2年生になると、専門科目もますます難しくなりました。それぞれの検定試験合格に向け、朝夕の課外を受けながら励ましあって勉強しました。学校行事を成功させるため、遅くまで残って企画を練り、準備した生徒会活動。部活動にも一生懸命取り組み、成果をあげることができました。充実した日々の中で、特に忘れられないのが修学旅行です。間近に見る雪山の美しさに息を飲みました。初めてのスキー。白銀の世界に我先にと飛び出しました。転んだり、雪に埋もれたりするたびに、笑い転げました。夜通し語り明かし、翌日のバスの中で眠り続けたこと。すべてがキラキラと輝いていたディズニールランドの夜景。たくさん撮った写真よりも、記憶の中の景色のほうがずっときれいで鮮明です。

昨年の振徳祭では、私達が先頭に立ち、後輩を牽引する立場となりました。共に悩み、大声を張り上げ、全力で走り、たたえ合う仲間がいたから駆け抜けられることができた。苦しい時、自分以上に息を切らしている仲間がいました。うれしい時、自分のことのように歓声を上げ喜んでくれる仲間がいました。

1、2年生の皆さん、行事や部活動で共に過ごした時間は私達にとっても大切な思い出です。みんなの積極的な姿勢が私達をより一層やる気にさせてくれました。これからも、皆で力を合わせたからこそ手にできる喜びを存分に味わってください。

そして、今ここにいる7期生のみんな！幾度となく衝突し、互いの意見を戦わせました。レギュラーを争い、試験の順位を競い合い、そのたびにお互いを認め、自分を成長させることができました。みんながいなければ、こんなにぜいたくな高校生活は送れません。出会えたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

校長先生をはじめ、諸先生方。今まで本当にお世話になりました。自分自身のことなのに諦めたり投げ出したりしそうな私達を、先生方は深く信じてくださいました。時に優しく、時に厳しく、私達を導いてくださいました。放課後遅くまで、また休日も返上して熱心に指導してくださいました。部顧問の先生。進路決定までの間、面接や作文の指導をしてくださいました。うまくいかず、反発したこともありました。期待にこたえられず、途方に暮れ、立ちすくんだ時、助けてくれたのは先生方でした。先生方は私達の道しるべでした。今はまだ、いただいた愛情にお応えする方法が見つかりません。本当にありがとうございます。

最大の理解者である父さん、母さん。毎朝、お弁当を作ってくれてありがとう。朝早くから晩まで働いて、学校へ通わせてくれてありがとう。

毎日の部活動で、帰りが遅い私を、父はご飯を作って帰り着くまで必ず待っていてくれました。

それなのに、自分の気持ちとげとげしくなっていくのをどうしようもできず、そのままぶつけてしまったことがありました。母さんは、絶妙な距離を保って、海のように包み込んでくれました。父さんは、太陽のようなデカイ背中、いつだって何かを教えてくださいました。

いつか、もらった以上のものを返せる日がくるように、二人が育ててくれたこの心と体で困難に挑戦し続けることを誓います。

これからの私達を待ち受けているのは、急激に変化し続ける世界です。AIの躍進や技術革新により私達は自らのあり方を問われています。他にも様々な問題が絡み合い、「今まではこうだった」は通用せず、簡単に答えは見つかりません。だからこそ、新しい価値観を創造できるのではないかと思っています。18歳の今、感じている希望や疑問を忘れず試行錯誤を続けていきます。

自分の選択に責任を持つこと、誰かの誇れる存在になりたいと願う気持ちとは、この日南振徳高校で培いました。人生の最良の時はこれからの未来にあるはず。その時に向かって、私達は今胸を張って歩き出します。

名残は尽きませんが、今日まで私達を導いてくださったすべての方々へ改めて感謝するとともに、母校の更なる発展を祈念して、答辞といたします。

平成三十年三月一日

卒業生代表 横山 舜(吾田中)

